

## 東広連第 61 回学生広告展方針

我々、東京学生広告研究団体連盟は新型コロナウイルスによる驚異的な感染の影響を受け、今年度の第 61 回学生広告展に限り作品制作活動を行わない方向で決定しました。理由としましては、制作における撮影や会議のために集まると新型コロナウイルスに感染してしまうリスクが高まってしまうからです。万が一、東広連加盟員が新型コロナウイルスに感染してしまった場合、クライアント・後援企業・団体、協力企業の皆様・各大学に多大な損害を与えてしまい、社会的な制裁や法的制裁を受けると共に多大な損害賠償金を要求される可能性があります。このような事態を避けるために、今年度の第 61 回学展は制作を行う前の段階である「企画」にフォーカスすることにしました。リモートで制作できるのではないかという意見ももちろんあがりました。しかし、個人により制作環境（グリーンバック・Adobe・一眼レフ・ミラーレスカメラ・マイクの有無など）の格差が生まれてしまいます。我々東広連は学展を「東広連加盟全員に、広告を好きになってもらう場」と考えています。したがって、制作環境を統一した結果、今年度は制作活動を行う前の企画・絵コンテのみで審査を行うと判断しました。広告の醍醐味である制作活動を今年度は廃止してしまい心苦しく思います。しかし、2020 年というイレギュラーな時代になった現在において「企画」という今までとは別の視点で広告と向き合うことで、新たな自分と「遭遇」できるのではないのでしょうか。このピンチな境遇を逆手にとってチャンスとする、絶好の機会であると私たちは考えています。『逆境また愛すべし。』逆境こそ自分を強くする最大のチャンスだと私達は、考えています。皆さん頑張りましょう！！

もちろん、会議・企画等のミーティングは zoom などのオンライン上で行なってください。万が一、集まって会議や制作を行ったことが発覚した場合、その企画は無効とします。今回このような事態となってしまう、クライアント・後援企業・団体、協力企業の皆様・東広連加盟員に謝罪を致します。誠に申し訳ございません。企画だけの学展となってしまうましたが、東広連一同全力で皆さんが満足できる新たな学展を生み出していきますので、どうかご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

東広連一同より